



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 パンチ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6165 URL <https://www.punch.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 森久保 哲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 CFO (氏名) 村田 隆夫

TEL 03-5753-3130

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,442	7.7	98	86.0	338	51.5	119	72.1
2023年3月期第1四半期	10,234	10.3	705	11.4	698	8.3	427	18.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 515百万円 (66.2%) 2023年3月期第1四半期 1,524百万円 (14.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	4.88	4.87
2023年3月期第1四半期	19.32	19.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	29,518	19,250	65.1
2023年3月期	30,455	19,052	62.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 19,202百万円 2023年3月期 19,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		6.50		13.00	19.50
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		10.00		10.30	20.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,250	11.2	330	78.5	620	59.3	120	86.8	4.91
通期	37,600	12.1	750	69.2	1,000	58.2	100	92.8	4.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	24,622,400 株	2023年3月期	24,622,400 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	191,439 株	2023年3月期	191,339 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	24,431,059 株	2023年3月期1Q	22,140,597 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和に伴う消費の回復が期待されたものの、地政学リスクの増大、長期化による景気の下振れリスクや急激な円安による為替相場の変動など、厳しい経営状況が依然として続いております。また、製造業では、半導体・原材料調達難は回復基調となったものの、原材料・資源価格高騰が顕著となり、また、巣ごもり消費の終息や世界的な在庫調整の影響などから、先行きが不透明な状況が継続しております。

このような環境のなかで当社グループは、2022年4月より、3ヵ年の中期経営計画「バリュークリエーション（以下、VC）2024」において、「新規・既存事業の拡大」「生産体制の強化」「R&D強化」の3つを重点経営課題として掲げて目標達成に向けて取り組んでまいりました。2022年10月にはFA機器設計・製作を手掛ける株式会社ASCe（以下、アスク）の全株式を取得し、子会社化するなどして「新規・既存事業の拡大」に取り組むほか、2023年1月には「財務戦略」として、資本政策の基本方針及び株主還元方針の見直しを実施するなど、一定の成果を上げてまいりました。しかしながら、世界的な地政学リスクの高まり、原材料・資源価格の高騰や部品不足等により経営環境が厳しさを増す中、「VC2024」については大幅な遅れを余儀なくされており、当社としては、これまでの遅れのリカバリーに加えて、今後の新たな成長戦略も含めた計画のブラッシュアップが必要であると考えに至りました。そして、2023年5月にプライム市場からスタンダード市場への移行、2023年7月には「VC2024」をブラッシュアップした「VC2024 Revival（リバイバル）」を公表し、各種施策の実行に経営資源を集中することといたしました。

「VC2024 Revival」では、付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指すことを方針として、最重点施策に「国内事業の再整備」を掲げ、生産拠点・販売拠点の統廃合と、それに伴う希望退職者の募集・連結子会社の解散を含めた、経営合理化を行うことを決定いたしました。また、国内事業においては事業体制の再整備を行う一方、海外事業においては引き続き、販売拠点及び販売代理店の新設、FA領域の“特注品”の販売拡大、インド市場への再注力など、成長戦略を継続します。

経営成績に目を向けますと、原材料・資源価格の高騰や部品不足等、仕入品の価格上昇や水道光熱費などの上昇等が継続し、世界的な在庫調整の局面やダウントレンドの市況を受け、日本並びに中国において前年同期実績を下回る売上となりました。特に、中国においては、ゼロコロナ政策の解除によりサービス需要は回復しましたが、自動車、スマートフォンなどの耐久消費財の需要の伸び悩みや不動産市況の低迷などにより、景気回復のペースが想定を下回りました。一方、東南アジア地域、欧米他地域においては前年同期実績を上回る実績となりました。なお、当社及びアスク、ピンテック、インドパンチを除くグループ各社の決算期は12月となっており、2023年1月から3月の業績が当第1四半期連結累計期間の業績となります。

この結果、国内売上高は3,285百万円（前年同期比6.6%減）、中国売上高は4,768百万円（前年同期比13.7%減）、東南アジア地域の売上高は474百万円（前年同期比0.6%増）、欧米他地域の売上高は914百万円（前年同期比27.4%増）となり、連結売上高は9,442百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

また、業種別では、自動車関連は3,998百万円（前年同期比8.8%減）、電子部品・半導体関連は1,831百万円（前年同期比6.0%減）、家電・精密機器関連は935百万円（前年同期比11.3%減）、その他は2,677百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

利益面につきましては、中国並びに日本の市場環境悪化による売上減少及び工場稼働の悪化、エネルギーコスト上昇等により、営業利益は98百万円（前年同期比86.0%減）、為替差益の計上等により経常利益は338百万円（前年同期比51.5%減）、海外子会社の実効税率変更等により親会社株主に帰属する四半期純利益は119百万円（前年同期比72.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は29,518百万円となり、前連結会計年度末と比較し937百万円の減少となりました。これは、主として現金及び預金の減少等によるものであります。

総負債は10,268百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,135百万円の減少となりました。これは、主としてその他流動負債の減少等によるものであります。

純資産は19,250百万円となり、前連結会計年度末と比較し197百万円の増加となりました。これは、主として為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年8月9日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,212	4,157
受取手形	1,745	1,965
売掛金	9,632	9,346
商品及び製品	2,851	2,813
仕掛品	658	668
原材料及び貯蔵品	1,531	1,543
その他	484	713
貸倒引当金	△39	△44
流動資産合計	22,077	21,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,157	6,229
減価償却累計額	△4,386	△4,463
建物及び構築物（純額）	1,771	1,765
機械装置及び運搬具	17,405	17,631
減価償却累計額	△13,513	△13,753
機械装置及び運搬具（純額）	3,892	3,877
工具、器具及び備品	2,732	2,778
減価償却累計額	△2,273	△2,326
工具、器具及び備品（純額）	459	451
土地	829	830
建設仮勘定	161	208
その他	466	492
減価償却累計額	△265	△297
その他（純額）	200	194
有形固定資産合計	7,314	7,327
無形固定資産		
のれん	466	454
その他	228	212
無形固定資産合計	695	667
投資その他の資産		
投資その他の資産	404	392
貸倒引当金	△36	△32
投資その他の資産合計	367	360
固定資産合計	8,377	8,355
資産合計	30,455	29,518

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,667	2,412
電子記録債務	999	981
短期借入金	1,300	1,200
1年内償還予定の社債	10	10
1年内返済予定の長期借入金	728	680
未払法人税等	396	314
賞与引当金	379	391
その他	2,698	2,180
流動負債合計	9,180	8,169
固定負債		
長期借入金	675	554
退職給付に係る負債	1,243	1,243
その他	303	300
固定負債合計	2,222	2,098
負債合計	11,403	10,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,406	3,406
資本剰余金	2,967	2,967
利益剰余金	10,101	9,903
自己株式	△94	△94
株主資本合計	16,381	16,182
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,737	3,117
退職給付に係る調整累計額	△111	△98
その他の包括利益累計額合計	2,626	3,019
新株予約権	20	20
非支配株主持分	23	27
純資産合計	19,052	19,250
負債純資産合計	30,455	29,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	10,234	9,442
売上原価	7,343	7,026
売上総利益	2,891	2,416
販売費及び一般管理費	2,185	2,317
営業利益	705	98
営業外収益		
受取利息	13	13
為替差益	—	192
その他	24	51
営業外収益合計	38	257
営業外費用		
支払利息	11	13
為替差損	31	—
その他	2	3
営業外費用合計	45	16
経常利益	698	338
特別利益		
固定資産売却益	2	4
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産除売却損	5	3
減損損失	55	118
特別損失合計	60	121
税金等調整前四半期純利益	640	222
法人税、住民税及び事業税	171	95
法人税等調整額	39	5
法人税等合計	210	100
四半期純利益	429	121
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	427	119

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	429	121
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,123	381
退職給付に係る調整額	△29	12
その他の包括利益合計	1,094	393
四半期包括利益	1,524	515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,520	511
非支配株主に係る四半期包括利益	3	3

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、金型部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（希望退職者の募集）

当社は2023年7月5日開催の取締役会において、希望退職者の募集を行うことを決議しました。

1. 希望退職者募集の理由

世界的な地政学リスクの高まり、原材料・資源価格の高騰や部品不足等により、経営環境が厳しさを増す中、国内金型部品事業の再整備の観点から希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

2. 希望退職者募集の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 募集対象者 | 全部門の従業員 |
| (2) 募集人数 | 200名程度 |
| (3) 募集期間 | 2023年8月7日から2023年8月25日 |
| (4) 退職日 | 2023年9月30日 |
| (5) 優遇措置 | 規定の退職金に特別に算定した退職金を加算します。また希望者に対しては再就職支援を予定しております。 |

3. 業績への影響

2024年3月期の連結業績に与える影響額は、現時点で応募者数等を見積もることが出来ないため未定です。

（連結子会社の解散）

当社は2023年7月5日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ピンテックの解散について決議しました。

1. 解散の理由

世界的な地政学リスクの高まり、原材料・資源価格の高騰や部品不足等により、経営環境が厳しさを増す中、国内金型部品事業の再整備の観点から解散することを決議いたしました。

2. 解散および清算する子会社等の概要

- | | |
|----------------------|---|
| (1) 名称 | 株式会社ピンテック |
| (2) 所在地 | 山形県山形市蔵王松ヶ丘二丁目2番26号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 小日向 耕市 |
| (4) 事業内容 | フレキシブルプリント基板金型関連部品の製造・販売
プリント基板金型関連部品の製造・販売
プラスチック用金型関連部品の製造・販売 |
| (5) 資本金 | 10百万円 |
| (6) 設立年月日 | 2002年12月19日 |
| (7) 大株主及び持株比率 | パンチ工業株式会社 100% |
| (8) ピンテック解散に伴う退職者の状況 | |
| ① 対象者 | 全従業員73名 |
| ② 退職日 | 2023年9月30日 |
| ③ 優遇措置 | 規定の退職金に特別に算定した退職金を加算します。また希望者に対しては再就職支援を予定しております。 |

3. 解散及び清算の日程

2023年9月末の生産完了をもって国内生産から撤退し、当該子会社において臨時株主総会を開催し解散決議をいたします。なお、2024年度中を目途に清算終了となる予定です。

4. 解散による損益への影響

2024年3月期の連結業績に与える影響額は、現在精査中です。